

<教育利用> ③「生成AIの基本操作とプロンプト」

プロンプト

プロンプトによって生成AIが出す回答に違いが生じることに触れ、プロンプトを作成する際に

- ・役割設定
 - ・条件
 - ・具体的な例や情報
 - ・出力形式
- 等を指示することで、自分の望む回答に近づけることができることを説明。
 (図4) その後、冬季休業中に生成AIを使って川柳づくりの課題を出し、作品は佐賀県が実施したDX川柳コンテストに出品した。

プロンプト作成のコツ

- 1.役割設定
- 2.条件
- 3.事前情報や知識
- 4.出力の形

役割設定

- ・あなたは、小学校の先生です。
- ・あなたは、DXコンサルタントです。

条件

- ・300文字で書いてください。
- ・小学6年生にもわかりやすい文章で書いてください。

事前情報や知識

- ・〇〇は、□□です。
- ・〇〇年は、□□で、△△がありました。

出力の形

- ・表にしてください。
- ・箇条書きで答えてください。

図4

画像生成AI

- 画像生成AI（Canvaを利用）を体験するために、
- ・ChatGPTで生成した物語をもとに、画像生成AIでイメージ図をさらに作成。それらを使ったデジタル絵本を制作。添えて動画を制作。
 - ・受験勉強に役立つ商品を課題とした商品開発とパッケージデザインを生成。

- ・短時間で、アイデアやデザインが作成され、新しいものづくりの可能性を感じた。
- ・同じプロンプトでも、違う回答が返ってくるため、プロンプトの書き方にさらなる工夫が必要なものの検討を続けていく必要がある。
- ・一方で、生成されたものの著作権については慎重な扱いが必要である。